

資源価格の上昇と豪ドルの推移

<石炭価格は大幅上昇>

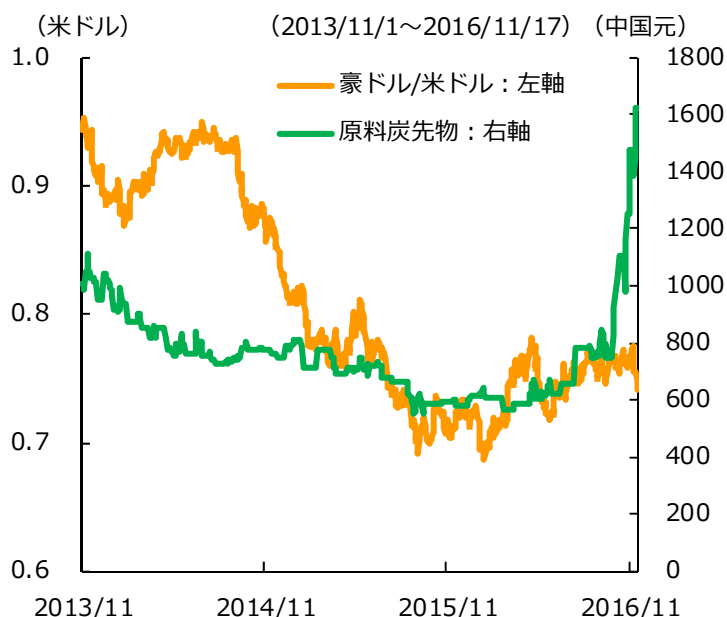
軟調な推移を続けてきた資源価格は2016年に入り、変化が見られてきています。鉄鉱石価格は昨年12月、WTI原油先物価格は今年2月の安値から切り返し、持ち直し傾向が続いています。また、石炭（原料炭）の価格を見ると安値から3倍を超える価格にまで上昇しています。資源価格が持ち直してきた背景として需給改善が挙げられます。特に上昇率の大きかった石炭（原料炭）について言えば、中国政府が過剰設備や環境汚染問題を背景に石炭の生産抑制策を導入したことで供給が減少し、価格の大幅上昇につながりました。

<資源価格に連れる豪ドル>

2016年初まで資源価格安に連れて豪ドルは軟調な推移が続き、1豪ドル=0.6827米ドルまで下落する場面も見られました。しかし、資源価格が反発したことで豪ドルは対米ドルで反発し、持ち直しの推移に転じています。今後も資源価格の上昇が続くことになれば、豪ドルも資源価格に連れ高となると考えられます。

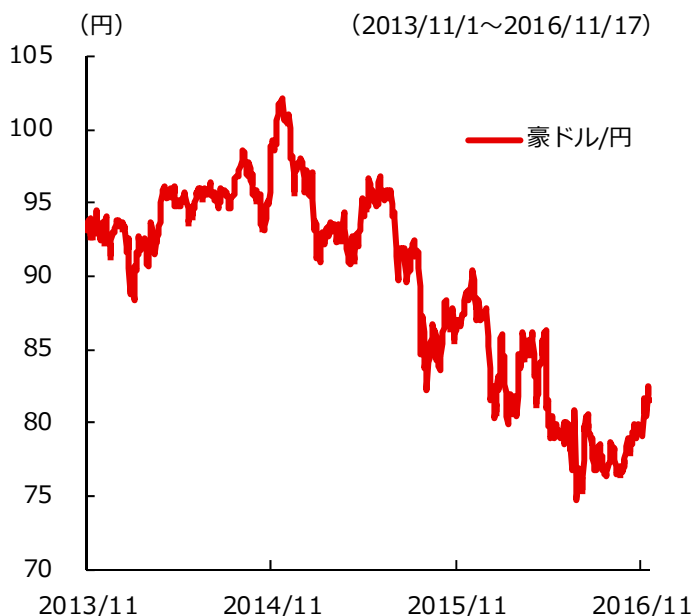
資源価格の上昇は豪州の実体経済にも好影響を与えていくことが予想されます。豪州の主力輸出品目は鉄鉱石や石炭などの資源であり、資源価格が上昇することで輸出金額が増加し、豪州景気を押し上げることとなります。また、資源価格上昇は景気の拡大などを通じて税収が増加し、豪州の財政改善にもつながります。資源価格の中長期的な動向はファンダメンタルズの改善という経路も通じて豪ドル投資への支援材料となりうることから、今後の資源価格の動向に注目が集まります。

<豪ドル/米ドルと原料炭先物価格の推移>



※ 原料炭先物は大连商品取引所の1トンあたりの価格

<豪ドル/円の推移>



出所：Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会